

「電子書籍礼賛」

<老人こそタブレットで本を><冥土までタブレットを持っていきたい・・・>

宮 本 克 巳

まず自己紹介、精密工学科第10回生（昭和25年卒）87歳男です。若干右眼に疾患（軽い黄斑上膜症：方眼紙の格子が歪んで見える）があること、老人性難聴で補聴器を使ってもラジオ駄目、テレビも字幕付きでないと理解困難という身体状態です。

2010年5月iPadを発売と同時に購入、今迄図書館で一度に7～8冊借りて7～10日で交換するという読書環境から徐々に電子書籍とやりに手を出し始めた。当時は/今でもそのようだが、コミックが主流でなかなか読みたいものが無かった。私の年代はコミックは苦手、せいぜい「手塚治虫」先生くらい。

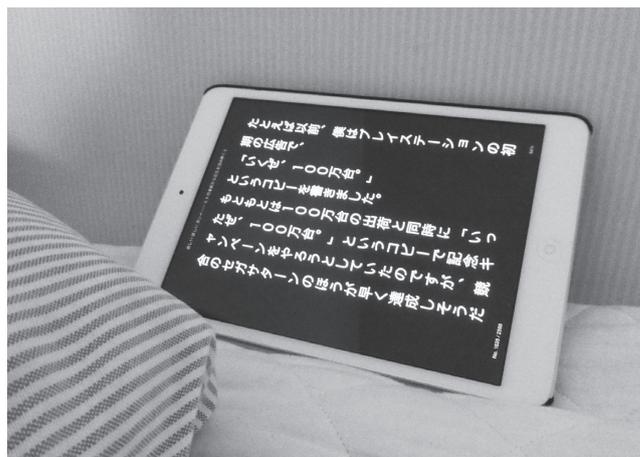
インターネットに「青空文庫」という著作権切れの小説などをボランティアが打ち込み、無料で配布するシステムがある。これで、夏目漱石、吉川英治などを読んだ。

iPadに代表されるタブレットで電子書籍を読むことをオススメしたい。メリットとデメリットを書いてみる。

●メリット

- 1) 文字を大きくして読める：私は黒バックに6mm角サイズの白抜きゴシックフォントを選んで読んでいる。元来近視で、辞書の小さな文字も平気と言っていたのは、若い頃の話。最近は新聞活字も明るくないと読みづらい。読みづらくなると人間読まなくなっていく。それが恐ろしい。
- 2) 暗いところでも難なく読める：最近はデスクに向かって本を読み続けるスタミナがない。ベッドに転がって、ライト付きの書見台に本を挟んで読むのが3年前までの読書。それでも頁の端の方になると照明がうまく当たらず、紙面も凸状になって読みづらい。夜寝る前に本を読む習慣は生来。明かりを消して真っ暗でも、電子書籍なら周囲に遠慮なく読める。幸い私のベッドは壁際なので、スタンドなども不要、壁に立て

かけて、そのまま眠ってしまっても、自動シャットオフ。(写真参照)



ベッド枕元の壁に立てかけた iPadmini

- 3) 書棚などの空間が要らない：私はアマゾンのKindle本を開店以来2年半で550冊買った。あまり高価なのは遠慮して平均500円程度、主に推理・時代小説、歴史・時局・美術・IT関係参考書などもある。読み終わったものや未だ読む気になれないものは、クラウドというネットの書棚に預けてあり、iPadには10数冊入っていて、必要に応じて550冊いつでもダウンロードして読める。

今まで書棚にあった本で、未読のもの・取っておきたいものは、解体してドキュメントスキャナというのにかけてPDFファイル形式にして、PCに取り込んだ。これもiPadで読めるが電子書籍のように、画面の大きさに合わせて表示を調整する「リフロー機能」がないので読みづらい・・・

いずれにせよ壁一杯に書棚のある家を処分して、姪の家の一室に引越すことになったので、写真から何からすべてPCへ移すのに丸二年かかった。オット話は逸れましたが・・・

- 4) 携帯性が良い：iPadminiではちょっと無理だが、KindleのPaperWhiteという機種なら片手持ちが出来るので、通勤電車でも十分読める。優先席に腰掛けら

れば iPadmini でも楽々。

- 5) 試し読みが出来る：殆どの書店（ネット）で最初の数頁が無料ダウンロード出来る。
- 6) 入手簡単：家にいてすぐ入手出来て、すぐ読める。インターネットでチョンチョンとクリックして。iMAC、iPadmini、スマホの3ヶ所にダウンロードして読める。（代金は1冊分）
- 7) PC・タブレット・スマホ共通で読める：ネット接続していると、ある端末での読みかけの書籍が、他の端末で同頁から読み継ぐことが出来る。
- 8) 英語など外国語の書籍も安く読める：あまり得意ではないので、よく調べていないが、とにかく簡単に買える。
- 9) 朝日新聞・日経新聞がタブレットで拡大して読める：あの大きい紙面を広げる明るい空間がないので、助かる。
- 10) 文中の単語を、指でなぞって選択し、クリックすると、辞書につながる。難解語、カタカナ語など、英語も引ける。

●デメリット

- 1) 種類が限定されている：最近、新聞・週刊誌・月刊誌の一部も電子化されているが、出版物すべての電子化にはほど遠い。
この記事の趣旨から離れるので詳しく述べないが、いろいろと障壁があるようだ。
- 2) パラパラめくりができない・所有感がない・あの紙の感覚がない：確かにこれは永年親しんだ読書家の実感。でも私は言いたい「それは本が読める人のぜいたく」。「目がかすんで本が読みづらい、だからもう本は読まない」という人たちは、そんなことは言っていない。
- 3) 購入する価格は若干紙の本より安いですが、所有権がない：古本として転売したり、友人に贈呈したりは出来ない。購入元の会社が破綻すると、蔵書資産が吹っ飛んでしまう。

端末機器のタブレットの数々

- 1) 元祖の Apple 社の、iPad、iPadmini。
- 2) Andoroid 系の数多くのタブレット類。
これらは、インターネット・電子メールができ、ソフトを入れることでメモ帳、住所録、等々便利帳になる。

- 3) アマゾンの Kindle の PaperWhite に代表される電子ブックリーダー専用機。片手持ちが出来る軽さ。

ネットは出来ないが、表示が「E インク」といい、液晶でないの目目に優しいと好評。現状では白背景に黒文字表示のみで黒背景白文字などが出来ない。私は iPadmini を持っていて2台持ちとして試しに買って見たが、片手持ち以外のメリットが感じられず、通勤しない私には不要と、ヤフーで即処分した。単機能でよければ、オススメ一番。画面はすべて白黒です。

電子書籍購入先

- 1) アマゾンコムのキンドル本

先述のように私は開店以来の常連で、最近殆どこの店（ネットですが）で購入。

理由：

- A) 他の買物もアマゾンですることが多いので、手続きなどスムーズ。クレジットカード登録済み。
- B) お買物履歴が、数年に亘り保存されていて、二重買いはお知らせがあり防止できる。これは重宝。あちらこちらで買っていると、蔵書管理が難しいので、今はできる限りアマゾンに一本化している。（アマゾンの戦略にハマっている）
- C) 読者メッセージ欄が充実していて、参考になる。
- D) 日替わりセールなどのキャンペーンがあり、思わぬ出会いがあって、読書領域が広がる。

- 2) honto 大日本印刷、Kinoppy 紀伊国屋書店、Kobo 楽天、その他続々登場中。

タブレット類の価格：ほんの一例

- 1) iPadAir2 16GB WiFi ¥53,800 437g
iPadmini 16GB WiFi ¥42,800 331g
- 2) Kindle PaperWhite WiFi ¥10,280 215g
- 3) ASUS MeMO Pad 7 WiFi ¥29,700 269g
ASUS MeMO Pad 7 SIM-Free ¥36,990 279g

締めくくり

老眼鏡が煩わしい、読書も肩が凝るなど高齢者の悩み解消にぜひタブレットか電子ブックリーダーによる電子書籍を試されることをお奨めします。貴方自身だけでなく、貴方の父母など的高齢者の方々のためにも一考されることをのぞみます。

（精密 昭和 25 年卒）